

ウォッチガード、ホームオフィス、中小規模オフィス環境に適した テーブルトップファイアウォールの新ラインナップを発表

アップグレードされた Firebox T Series T20/40/80 で HTTPS の高速スループット、
高機能セキュリティサービス、統合型 SD-WAN 機能、PoE などを提供

2020年9月8日(火) – 企業向け統合型セキュリティソリューション（ネットワークセキュリティ/セキュア Wi-Fi/多要素認証/エンドポイントプロテクション）のグローバルリーダーである WatchGuard (R) Technologies の日本法人、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表執行役員社長 谷口 忠彦、以下ウォッチガード）は本日、テーブルトップのファイアウォールアプライアンス Firebox T Series の新モデル、T20、T40、T80 を発表しました。新モデルはホームオフィスや中小規模オフィス環境に適しており、コンパクトサイズながらビジネスに耐えるインターネットスピードを実現しつつ、エンタープライズグレードの広範なセキュリティサービスを提供します。

ウォッチガードのプロダクトマネジメント担当バイスプレジデント、Brendan Patterson（ブレンダン・パターソン）は以下のように説明しています。「インターネットの高速利用が進みつつも、攻撃者がネットワークやユーザを攻撃するために洗練された手法を用いる中で、企業はパフォーマンスとセキュリティの両立を図りたいところです。十分なセキュリティリソースを持たない中小規模組織にとってもこれは同じであり、私たちのテーブルトップセキュリティアプライアンスの新ラインナップは、まさにこうした組織に対して、卓越したスループットレベル、多層防御型のセキュリティサービス、ゼロタッチ SD-WAN 機能をはじめとした各種のメリットをもたらします。」

ウォッチガードのテーブルトップセキュリティアプライアンスの新モデルでは、今日の組織が、不確実性が増しているビジネス環境に対応する上で必要となる、包括的なセキュリティサービスの提供とともに高速スループットと高度な HTTPS トラフィック処理を実現します。新 T Series ファイアウォールを導入することにより、中小規模組織やこうした組織をサポートするマネージドサービスプロバイダ（MSP）は、ゲートウェイアンチウイルス、コンテンツ/URL フィルタリング、アンチスパム、不正侵入検知・防御、アプリケーション制御、クラウドサンドボックス、エンドポイントプロテクションなど、シンプルかつ低価格で管理が容易なパッケージとして利用することができます。

Firebox T20 – ホームオフィス/スモールオフィスでセキュリティ機能を必要とする組織やマネージドサービスプロバイダに適しています。スタンドアロンソリューションまたは本社による集中管理方式で運用することができます。また、Total Security Suite と併用することにより、ネットワークに対する外部侵入者のブロック、および不正なメール添付ファイル、フィッシング詐欺、ランサムウェア攻撃などあらゆる攻撃を抑止するためのトラフィック監視を可能にします。さらに Wi-Fi に対応した T20-W モデルのアプライアンスも用意されており、802.11ac 無線機能を備えています。

Firebox T40 – コンパクトサイズの経済的なセキュリティアプライアンスとして、スモールオフィス、支社、小規模の小売店舗などの分散拠点環境向けにエンタープライズレベルのセキュリティを提供します。ウォッチガードの Total Security Suite と併用するこ

とで、ランサムウェア対策や AI を活用した脅威対策など、高性能ファイアウォールと比較しても遜色ないセキュリティ機能を利用できます。また T40-W では、優れたダウンロード／アップロードスピードを実現する 802.11ac 無線機能を搭載しています。

Firebox T80 – 多様な中堅規模オフィス環境に理想的であり、他のテーブルトップファイアウォールと比較して卓越した高スループットとフル UTM プロテクト機能を提供します。また、拡張モジュールオプションも利用可能であり、カスタムポート構成により、アプライアンスからダイレクトで光ファイバー接続ができます。この SFP+モジュールでは、1Gb または 10Gb の光ファイバーポートが用意されており、中堅規模組織や MSP の接続ニーズに応じて利用することができます。さらに、テーブルトップアプライアンスとしては上位機能となる 2 つの Power over Ethernet (PoE+) ポートも備えています。

T Series アプライアンスは、ウォッチガードのクラウドプラットフォームにより管理されているクラウドベース構成ソリューション、RapidDeploy を用いてインストールすることにより、ホームオフィスや中小規模オフィスの環境でエンタープライズグレードのセキュリティを簡単に利用開始することができます。以下に主な特長を紹介します：

- **SD-WAN のゼロタッチデプロイ** – T Series ファイアウォールでは、統合型 SD-WAN 機能を提供しており、ネットワークの容易なレジリエンシーと最適化を可能にします。また、組込み型のゼロタッチ SD-WAN 機能により、高価な MPLS あるいは 4G/LTE 接続を不要にし、リモートサイトから中央のデータセンターへのトラフィック送信を回避するとともに、ハイブリッド WAN アーキテクチャをサポートしています。
- **PoE+** – Firebox T40 では PoE+ポートを 1 つ、Firebox T80 では 2 つ備えています。これにより、セキュリティカメラ、VoIP フォン、無線アクセスポイントなどの周辺デバイスの電源を確保することができ、個々のデバイスの電源ケーブルなどが不要となり、コストを削減し、利便性を高めることができます。
- **IntelligentAV** – T40 と T80 で利用可能であり、機械学習エンジンを活用して、日々進化するゼロデイマルウェアに対して優れた防御能力を発揮します。シグニチャベースの AV ソリューションが既知の脅威にのみ有効なのに対して、IntelligentAV は新たな脅威がリリースされる数か月前に予測し、これまで中小規模企業には手が届かなかった強力な予測プロテクト機能を提供します。
- **自動化** – ウォッチガードの新テーブルトップアプライアンスは、IT 部門、セキュリティチーム、MSP の負荷を軽減するために自動化機能を重視しています。ユーザは自動化プロセスを通じて、T Series アプライアンスをクラウド上で実装し、さらに脅威シグネチャのアップデートやマルウェアの検知・除去も行うことができます。

Calvert Technologies の CEO、Dean Calvert 氏は次のようにコメントしています。「ウォッチガードの Firebox T Series ファイアウォールは、在宅や中小規模オフィスの環境に適した多目的のセキュリティアプライアンスだと言えます。非常に豊富なセキュリティ機能に加えて容易に管理でき、ビジネスのスピードに耐え得るスループットを実現しています。」

ウォッチガード製品に関するポートフォリオ、サポート、マイグレーションパスの詳細についてはこちらをご覧ください。

<https://www.watchguard.com/wgrd-resource-center/end-of-life-policy> (英語)

関連資料

Firebox T Series Web ページ

<https://www.watchguard.co.jp/products/network-security-appliances>

ウォッチガードアプライアンスのサイジングツール

<https://www.watchguard.com/wgrd-resource-center/watchguard-appliance-sizing-tool> (英語)

【WatchGuard Technologies について】

WatchGuard (R) Technologies は、ネットワークセキュリティ、セキュア Wi-Fi、多要素認証、そしてネットワークインテリジェントを提供するグローバルリーダとして、全世界で約 10,000 社の販売パートナーとサービスプロバイダより 80,000 社以上の企業にエンタープライズクラスのセキュリティ製品とサービスを提供しています。ウォッチガードのミッションは、中堅・中小企業や分散型企業を含むすべての企業がエンタープライズレベルのセキュリティをシンプルに利用できることです。本社を米国ワシントン州シアトルに置き、北米、ヨーロッパ、アジア太平洋地区、中南米に支社を展開しています。日本法人であるウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社は、数多くのパートナーを通じて、国内で拡大する多様なセキュリティニーズへのソリューションを提供しています。詳細は <https://www.watchguard.co.jp> をご覧下さい。

さらなる詳細情報、プロモーション活動、最新動向は Twitter (@WatchGuardJapan)、Facebook (@WatchGuard.jp)、をフォローして下さい。また、最新の脅威に関するリアルタイム情報やその対策法は SecplicityJP までアクセスして下さい。

SecplicityJP : <https://www.watchguard.co.jp/security-news>

WatchGuard は、WatchGuard Technologies, Inc.の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

【本プレスリリースに関するお問合せ】

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社

〒106-0041

東京都港区麻布台 1-11-9 BPR プレイス神谷町 5 階

マーケティング担当

Tel : 03-5797-7205 Fax : 03-5797-7207

Email : jpnsales@watchguard.com

URL : <https://www.watchguard.co.jp>